

結の会 第18号

岐阜県在宅保健師「結の会」

(平成29年 9月発行)

平成29年度岐阜県在宅保健師「結の会」総会を開催 =会長に池戸 若枝氏が選任=

平成29年5月26日、岐阜県福祉・農業会館2階大会議室において、平成29年度岐阜県在宅保健師「結の会」総会並びに研修会を開催しました。

総会には、岐阜県保健医療課 山田保健企画監、岐阜県国民健康保険団体連合会 近田常務理事、岐阜県市町村保健活動推進協議会保健師部会 高木部会長に来賓としてご出席していただきました。

総会の議案は下記のとおりです。

【報告事項】

1. 平成28年度岐阜県在宅保健師「結の会」事業報告について
2. 平成28年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会について

【協議事項】

1. 岐阜県在宅保健師「結の会」会長並びに地区役員の改選(案)について
2. 平成29年度岐阜県在宅保健師「結の会」事業計画(案)について

【その他】

1. 傷害保険加入について

提出された全議案は、審議のうえ原案通り承認・可決されました。なお、「結の会」役員の改選では平成29年5月30日をもって役員の任期が満了となることから、幹事として地区推薦の候補者を承認するとともに、会長には飛騨地区幹事の池戸若枝氏、副会長には中濃地区幹事の佐伯とし子氏が選任されました。

総会終了後の研修会では『タバコによる生活習慣病 COPD』と題し、国立病院機構長良医療センター 統括診療部長・地域連携室長の加藤達雄氏に講演いただきました。



新会長あいさつ 池戸 若枝

このたびは、伝統ある「結の会」、会長職を拝命し、身の引き締まる思いです。

初代会長は、同期の保健師仲間でした。職場に届いた会報は、現役時代の同期保健師の姿と重なり、どこにいても変わらず、がんばっているなあと、今でもその時の感動がよみがえります。

当時は、母子保健の実施主体が県から市町村へ移行された頃です。介護保険が新たに導入され、寝たきり予防や在宅ケアの充実に力が注がれました。保健所中心に実施されていた精神障害者に関する業務の一部が、生活に身近な市町村に移行されました。その時々が必要に応じて保健活動は変遷しており、現在も、少子化高齢化により保健活動そのものも多様化しています。

会員の方お一人お一人が、無理をせず、できることに参加していただけるよう、国保連合会ははじめ関係機関の皆様のご指導・ご助言をいただき、「結の会」の運営に努めてまいりたいと思います。

会員の皆様におかれましては、それぞれの地域で親睦を深められ、また専門職として、あるいは人生の豊かな経験者として、“やがて木となり森に”「結の会」の活動に、今後とも多大なるご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

